

13名の
議員が
聞いた!

一般質問

9月議会では、13名の議員が質問に立ちました。
全質問項目は下記のとおりです。8ページからの本文は、
質問をした議員本人が要約して執筆しています。

8p 中島清一 議員
(旭日会)

No.1

1. 市長の政治姿勢について
2. 空き家対策について
3. 公園の利活用について
4. 吉田地区の露店市場の消雪パイプ問題について
5. 平和教育について

10p 齋藤紀美江 議員
(旭日会)

No.6

1. 子育て・子育て支援について
2. 体育施設の使用料について
3. 空き地の管理及び市有地の管理について
4. 行政運営におけるルールの方針について

12p 長井由喜雄 議員
(日本共産党)

No.10

1. 非核平和都市宣言と関連事業について
2. 防災の観点と、「川」を活かした取り組みについて

8p 樋浦恵美 議員
(公明党)

No.2

1. 成年後見制度について
2. 学校教育について
3. 市民がより投票しやすい環境づくりについて

11p 土田 昇 議員
(日本共産党)

No.7

1. 市長の政治姿勢について
2. 原発問題について
3. 農業問題について
4. 指定管理について

13p 夕ナカ・キン 議員
(無所属)

No.11

1. 新庁舎について
2. つばめ若者会議について
3. 子宮頸がんワクチン接種について
4. 事業所LED化設備設置費補助金事業について

9p 本多了一 議員
(日本共産党)

No.3

1. 市長の政治姿勢について
2. 市営住宅の問題について
3. 農政について

11p 小林由明 議員
(旭日会)

No.8

1. 民間活力導入による、今後の市役所業務について
2. 教育、子育て問題について
3. 若者によるまちづくりの場について
4. 都市整備と生活環境について

13p 大岩 勉 議員
(旭日会)

No.12

1. 平成25年度施政方針の取り組みについて
2. 選挙制度について
3. 教育環境の向上について

9p 渡邊雄三 議員
(公明党)

No.4

1. 高齢者の見守り支援体制について
2. 災害対策基本法改正案成立について
3. 介護予防・健康増進運動について
4. 自動体外式除細動器(AED)設置について

12p 齋藤信行 議員
(大河の会)

No.9

1. 学校施設の修繕について
2. 学校プールについて
3. 小・中学校の土曜授業について
4. 学力向上について
5. 健康寿命について
6. 新庁舎周辺の暴風雪・除雪・消雪対策について

14p 阿部健二 議員
(無所属)

No.13

1. 市政について
2. 指定管理について
3. 産業について

10p 山崎雅男 議員
(旭日会)

No.5

1. まちづくり協議会について
2. 空き家・空き地の適正管理について
3. 国道116号バイパス整備について

一般質問の全文は、各図書館などに置いてある議事録や、インターネット(市議会ホームページ内の「会議録検索」)で閲覧することができます。

イロナ・モンダイガ・アルンデスネ

ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。
質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。
本会議における質問の順番は受け付け順となっています。



憲法改正の動きをどう思うか



本多了一 議員(日本共産党)

問 自民党は現在の憲法を変えるためのさまざまな動きを示している。そして、より右寄りの政治を進めようとしていることが心配だ。市長は今の憲法を変えたいという政治的動きについて、当然のことながら察知しておられると思うが、その動きについてどのような政治的見解を持っているのかお聞きしたいと思う。

答 申し上げるまでもなく、憲法は我が国の最高法規であり、私どもの生活の中で最も大切な法律だと理解している。したがって、憲法の改正については多くの皆様に関心を持つ



消費税増税の影響が懸念される地場産業

ていただき、国民的議論を深めることが極めて重要であると考えている。

問 アベノミクスで経済状況がよくなったと言われている。しかし、燕市の現状は、決して景気など少しも回復していない。地場産業にとつて消費税の増税が多くの企業・中小業者に与える影響は、はっきり知れないものがある。市長は、消費税の増税は燕市の現状から見て上げるべきでないと考えているのか伺いたい。

答 燕市には中小企業が非常に多く、まだまだ景気回復の実態が伴っていない現状があると受けとめている。いろいろな企業の方々からそのような心配の声を聞きしている状況である。



県立武道館の誘致に向けた手ごたえは



中島清一 議員(旭日会)

問 去る7月に、第3回県立武道館基本構想検討会議が開かれ、誘致を表明している5市による提案説明が行われた。市長は旧燕工業高校校舎の一部を活用した合宿所の整備などを提起した。市長の提案説明に対して、全委員から多くの質問が出されたとのことであるが、どんな内容だったのか。誘致に向けた手ごたえはどうであったか。



県立武道館の候補地(旧燕工業高校)

いるが、委員からの質問は「競技人口がどれくらいいるのか」「地元として活用をどのように考えているのか」など、プレゼンテーションした内容についての質問が多かった。

年内に、委員会として建設地も含めた議論を取りまとめると聞いている。強力なライバルもあり、予断は許されないが、全力を尽くして誘致活動に取り組んでいる。

問 市内全域の空き家・空き地の現況調査が行われたが、今後の予定は。

答 空き家・空き地の管理義務者に対して、物件の維持管理状況や将来の利活用などを設問した意向調査を行う。管理不全として認定された物件の管理義務者に対しては、適正管理の是正を求めていく。

市民後見人の育成について



樋浦恵美 議員(公明党)

問 ひとり暮らしの高齢者が増加していく中、成年後見制度の活用が重要になってくる。弁護士などの専門職や親族による後見人だけでなく、社会貢献に意欲的な市民の支えが必要であると考えられる。市民後見人の育成を図るべきと思うが、考えを伺いたい。

答 年々、親族以外の第三者が成年後見人等に選任される割合が増えてきている。燕市では、司法書士が活動されているほか、燕市社会福祉協議会で法人後見という活動を行っている。市民後見人は、身近な存在として財産



「成年後見制度」の説明パンフレット

管理など、きめ細かい活動で被後見人の権利を守ることが期待されている。市民後見人の育成は、今後大切になってくると認識しているが、専門職の後見人の方々とどう役割分担していくか課題もある。当面は法人後見人の利用促進を進め、連携強化を図りながら、権利擁護を支援するネットワークの構築を目指していきたいと考えている。

問 期日前投票所について「燕・分水地区のサービスコナーでも期日前投票ができないか」という市民の声があるが、市の考えは。

答 7月の参院選に向けて、夜間における投票箱や投票用紙の管理などを協議した結果、燕市役所のみとした。今後も、燕市役所のみで行う予定となっている。

高齢者の見守り体制強化を!



渡邊雄三 議員(公明党)

問 独居高齢者・高齢者のみの世帯に対し、地域の見守り体制はどのようになっているのか。

答 見守りを目的に実施している高齢者福祉サービスは、配食サービス事業や緊急通報システム配置事業がある。そのほか、長岡ヤクルト販売・市内新聞販売店の協力をいただいで、民生委員児童委員協議会と燕市による高齢者等の見守り協定を締結している。今後も見守りに協力していただける市民



新潟県労働衛生医学協会 燕検診センター

ボランティア等を募るなどとして、見守り体制を強化するとともに地域の支え合いを充実したい。

問 健康マイレージ制度提案について伺う。健康マイレージは、日ごろの健康づくりや生活習慣改善のための実践、健康教室への参加、健診・健康づくりへの取り組みに参加することにより、ポイントが付与する仕組みである。目的は、健康への意識の啓発、疾病及び介護予防、医療費の削減である。近年多くの自治体も取り組み始めており、健康づくりや運動参加のきっかけの制度として、提案したいかがか。

答 ポイント制度を導入することで、楽しみながら健康づくりに取り組んでいただくものとして組み立てを考えている。モデル事業として実施し、検証を行って、来年度から本格的に実施したい。

市長の政治姿勢と原発問題について



燕市の交通安全宣言塔

問 今回の職員の飲酒運転による停職6カ月は過去の事例を参考にしたと思うが、市長は最高責任者としての立場で、自分に厳しい判断について考えなかったのか伺う。

答 このたび、職員が酒気帯び運転により検挙され、燕市への信頼を大きく失墜させたことについて、市民の皆様を初め、議員の皆様、関係各位に對しまして改めて深くお詫び申し上げます。当該職員への懲戒処分については、燕市職員交通安全委員会の答申に基づいて処分を行った、これまでの基準に従いつつ、県内で発生した事例、それから最近の訴訟も参考に停職6カ月が妥当との判断に至った。市長の責任については、役付でない職員の酒気帯び運転による検挙に關連して、特別職が責任をとった例は他市も含めて前例がないというふうに聞いています。



土田昇 議員(日本共産党)

問 フィルター付きベント設備の新設は、安全協定に該当すると思いがどのように考えるか伺う。

答 県内の原発立地市町村以外の28の自治体が東京電力と安全協定を締結している。このフィルター付きベントの施設は安全協定に該当すると認識している。



敬老会の風景

問 国道116号バイパス整備については、県から要望書すら上がっていないと聞いています。要望書が提出されていない中で道路整備をするには無理があるという国の考えを認識されているのか。

答 具体的に県と連携して働きかけるべく打ち合わせを行っている。国の方針については承知している。

問 まちづくり協議会は地域コミュニティ協議会であり、大事なことは地域を守り、安心して暮らせるまちづくりの確立である。緊急時には地域住民が速やかに対応し、被害を最小限に抑え、減災に結びつけることが重要であり、組織の体制強化が必要という感じがついている。日々の事業計画に基づき、多くの住民に参加・協力いただき、活動を展開するには財源も必要不可欠である。しかし、活動資金の減額化により、組織の再編成や活動縮小で若い有能な人材が協議会組織から離れていく傾向にある。市はどう認識しているのか。



山崎雅男 議員(旭日会)

答 まちづくり協議会は、安心して暮らせるまちづくりに欠くことのできない組織である。協議会は公の施設の指定管理や敬老会事業等、市の事業を担う大切なパートナーとしての位置づけである。協議会のあり方については、見直しを行う一方で、大切な活動費は補助金も必要という基本的な認識を持っている。

安心して暮らせるまちづくりの確立を

ツキノ・ギカイハ・ジユウニガツ・テス

児童クラブや児童館の設置をどう進めるのか



齋藤紀美江 議員(旭日会)

問 教育基本計画策定時、児童クラブ・児童館の設置についてさまざまな意見が寄せられているが、どう進めていくのか。秋葉町児童クラブの課題解決には、世帯や子ども数が増えている水道町4丁目地内に児童クラブ併設の児童館を建設し、大関小と西小共同の児童クラブを設置するのが財政的・バランス的な面や、サービスの公平性からも費用対効果として有効と思うがどうか。秋葉町児童クラブに入会している子は、水道町と秋葉町の子どもたちではないか。

答 児童クラブは将来的には全小学校の設置



課題のある秋葉町児童クラブ

を考えている。児童館の新設などは地域の要望を注視し、効果を見きわめて慎重に研究したい。認定こども園を燕保育園に設置する予定だが、空き施設となる西幼稚園で秋葉町児童クラブを行う。

問 地域の要望と言うが、水道町の4町内及び両小学校のPTA会長連名で水道町4丁目地内に児童館設置の要望書が出されたが、どう思うか。

答 非常に重く受けとめている。

問 新潟県には「こども病院」がない。県立吉田病院をこども病院にすることで、安心して子育てのできるまちづくりができると思うが、どうか。

答 県央基幹病院基本構想策定委員会が、基幹病院の方向を検討している。これが第一優先になる。



サンロード宮町のイベントで活躍するつばめ若者会議のメンバー有志

問 燕の教育問題を話し合う場として、教育委員会・教員・保護者などで構成する協議体を設置していただきたいが、いかがか。

答 既存の地域教育協議会のあり方を十分に検討し、燕の教育問題を話し合う場となるよう取り組みたい。

問 つばめ若者会議の目的である、まちづくり全般に及ぶ活動を支援・推進するため、主管課以外の部課長や市関係団体にも、メンバーとのつながりをつくっていただくべきと思うが、いかがか。

答 関係部署や団体、場合によっては企業の協力が必要な場面も出てくると考えられる。積極的な支援をしていきたい。



小林由明 議員(旭日会)

住民の力を引き出し、まちの活性化を!

問 市役所業務について、既に外部委託しているものも含め、民間活力導入の全体のロードマップを策定し、公開すべきと思うが、いかがか。

答 今後のさらなる民間活力導入には計画的な取り組みが必要と考えている。早期の情報公開に努める中で、意欲ある市内業者が受託できるような配慮していく必要があると考えている。

つばめ若者会議、1回100万円なり！



タナカ・キン 議員(無所属)

問 つばめ若者会議は、20代・30代の市民を対象に、20年後の将来ビジョンを検討する場と聞いていた。しかし、40代や50代、または市外の人も参加している理由を伺う。

答 数人の方が年齢を超えていたが、応募者の熱意と意欲を尊重した。

問 参加者75人中、これまでの3回の会議に皆勤しているのは21人で、一度も出ていない人も9人いるが、本当に燕のことを考えていると言えるのか。会議の参加者が58人、42人、3回目が33人とトーンダウンしている理由に



つばめ若者会議の募集チラシ

問 市長の言われる超一流のコミュニティデザイナーで、カリスマと呼ばれている山崎亮氏のシンポジウムが6月15日に開催された。その講師料として市は30万円を支払っている。山崎氏の会社のスタッフが3人来ていた若者会議1回が100万円というのは高すぎると思うが、山崎氏は何回来る予定なのか。

答 1回程度を見込んでいます。

問 会議を見学したが、参加者の熱意が感じられない。まず、燕の歴史や文化を学んでいただきたいが。

答 ワークショップの修正というのはとりあえず考えていない。

ギンガ・キイタ・ツバメシノ・コレカラ

期日前投票や開票作業の見直しを



大岩 勉 議員(旭日会)

問 行財政施策の重点化、窓口業務の推進状況はどうか。早朝の時間を活用し、職員の自分磨きの講座を行ってはどうか。

答 予算編成時に行政評価や事業の精査を行い、業務改善運動の実施に職員一丸となり取り組んでいる。また、多彩なカリキュラムの講座から夜間や休日を利用し、自己研さんに努めているほか、自己啓発に対する支援事業を始めた。

問 学校給食センター建設整備や教職員の指導力向上のための研修事業と、燕子ども応援おひさまプロジェクト事業について伺う。

答 学校給食衛生管理基準に従って設計し、食物アレルギーのある子どもたちへの対応も進めている。先進校の視察研修に過去3年間で100名の教員が教育研修している。吉田中学校では太陽光発電が稼働し、児童生徒の環境学習から意識の醸成に期待している。

問 期日前投票所を増設し、投票率を上げるべきではないか。開票終了予定時間が県下で一番遅いのはなぜか。投票時間の繰り上げは考えられないのか。

答 期日前投票所は1カ所だった。選挙管理委員会と協議検討する。開票時間の短縮には、他の自治体の開票作業を参考に考えていく。

参議院選挙開票終了予定時刻

市区町村名	開票時間	終了	
		選挙区	比例
燕市	21時00分	23時00分	2時00分
三条市	21時10分	23時30分	1時00分
加茂市	21時00分	22時30分	0時30分
見附市	20時50分	22時30分	23時30分
弥彦村	20時00分	21時00分	22時00分
新潟西蒲区	21時00分	22時30分	0時30分



分水北小学校のプール

問 分水北小のプールのトイレが修繕されず使えないが、どうなっているのか。

答 分水北小のトイレは浄化槽の亀裂で汚水が漏れ、24年度から使用できない。不便をかけたが、来年度は改修できるようにしたい。

問 文部科学省は土曜授業を行う公立校への補助制度を設ける方針を決めたが、教育委員会ではどう取り組んでいくか。

答 文部科学省が26年度の概要要求に盛り込んでおり、今後の動向を見守りたい。

問 小中学校の学力の国・県の中

問 健康な高齢者の割合は他の市町村と比べてどうか。「ピンピンコロリ」に関する施策はあるのか。

答 健康寿命と平均寿命との差は、男性は9・56年、女性が13・19年。健康づくりにポイント化の施策も取り入れつつ、幅広い健康づくりの仕組みを考えている。



齋藤信行 議員(大河の会)

での位置づけはどうか。脱ゆとり教育の方針は怎么样了なっているのか。

答 小学校は国・県の平均から昨年の結果を上回り、十分な学力が身に付いてきている。中学校は昨年より改善傾向だが、県・全国平均を下回っている。教育立市宣言を受けて策定した学校基本計画に基づき、知徳体のバランスのとれた子どもを育てたい。市民と一体となって教育し、生きる力のみならず子どもたちを育てていく。

新庁舎に非核平和都市宣言塔の設置を



長井由喜雄 議員(日本共産党)

問 新市誕生のシンボルとも言われてきた新庁舎に「新市誕生を機として」非核平和都市宣言の宣言塔を市役所に設置することは、宣言に沿うものではないのか。上越市は戦争体験記のホームページでの公開や戦時中の食べもの体験などを実施している。燕市は非核平和事業をどうしているのか。

答 「燕市で楠の木は育たない」と答弁してきたが、実際には市内のあちこちで見られる。「被



市内で7mの高さまで育った「楠の木」

問 中学生の広島派遣は宣言に基づくもので、市民に対しての報告会も開くべきでないのか。

答 もう少し大勢の方に聞いていただくため、工夫の余地があると思う。教育委員会と相談する。

問 災害と観光・資源の観点から、Eポートの購入配備を自治会や企業に要請し、救援活動への展開を考えてはどうか。

答 水難訓練の一助となるなら効果的な事業と考える。公園を利用した「つばめるしえ」や中ノ口川の自然を観察できる川下りなど、観光資源として活用できる素材であると考える。

地方議会は二元代表制の一翼と言えるか



阿部健二 議員(無所属)

問 日本の地方自治は二元性で運営されているが、欧米の地方自治体では議院内閣制をとる国が多く、フランスでは議長が首長を兼ね、アメリカでは多くの自治体で議会が民間人らを行政の責任者に指名するシティマネージャー制をとっている。と聞く。ということは、議会制民主主義の本来からすれば、議会制民主主義のあるべき姿は、議会が地方自治体の意思を決め、首長は議会で決められたことを執行するという仕組みなのではないか。市長は常々「議会を尊重している」と言っているが、

国が認めた事業には一方的に首長に執行権があるなど、これまでの仕組みに地方議会の存在意義を矮小化する原因があったと思われる。この流れは変えなくてよいとお考えか。

答 最初に、議会は地方公共団体の意思決定機関であり、地方自治法第96条に掲げられている議決事件について、多数決の原則に基づいて地方公共団体の意思が決定されるものだ。一方、地方公共団体の長は、その議会の議決を経るべき事件について議案を提出し、その決定された意思に基づいて当該事項を執行する立場だと認識している。どちらが優位であるかという視点でとらえることは、必ずしも適当ではないと思っている。



燕市議会本会議場

請願の審査結果

9月定例会では、3件の請願が提出されました。



ダレデモ・ダセマス・セイガン・チンジョウ

- 「地方財政の充実・強化を求める意見書」の採択を求める請願書

請願者

燕市吉田西太田 1934 番地
燕市職員労働組合

執行委員長 星野一弥

継続
審査

- 「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願

請願者

新潟市中央区弁天橋通1丁目13番13号
新潟県私学の公費助成をすすめる会
会長 中村直美

全会一致
採択

- 「新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書」の提出を求める請願書

請願者

新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報会 会長 阿部 伸

賛成多数
採択

